

●自主防災隊の活動事例

活動事例① 第 22 区 区独自の防災委員会の立ち上げ

第 22 区では、毎年、安否確認訓練から始まり、救急訓練、簡易トイレ使用訓練、土のう作成訓練等を実施しています。毎回約 200 名の参加者があり、防災に関心が高い地域であるといえます。第 22 区では、各町内会の自主防災組織（隊）とは別に、第 22 区防災委員会を立ち上げ、前述の訓練や防災研修会を積極的に行い、自助・共助を実践しています。



活動事例② 第 35 区 自主防災会の消火栓放水訓練

可児市に接する希望ヶ丘地域では、消防署から遠いため、一旦建物火災が発生すると、延焼拡大の可能性が高くなります。そこで、第 35 区の自主防災組織では、市の自主防災組織支援事業補助金を活用して、20 メートルの消防ホースや格納箱などを購入しました。毎年実施する防災訓練では、地元消防団の指導のもと、放水訓練や倒壊家屋からの救出訓練を行っています。これらの訓練により、「自分たちの町は自分たちで守る」精神が醸成されています。

